

Titles of articles in botanical journals

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-03-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.24517/00053435

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



植物関連雑誌のタイトル紹介

(括弧内は頁数を示す。雑誌によっては編集部で植物自然史関係のもののみ選択した。雑誌の閲覧を許可された富山市科学博物館、富山県中央植物園に感謝いたします。掲載を希望される方は、雑誌を編集委員会までお送り下さい。)

○秋田県立博物館研究報告 第35号 2010年3月

(〒010-0124 秋田市金足鳩崎字後山52 秋田県立郷土館)

阿部裕紀子：秋田県産ヒゴクサ節（スゲ属）標本（17-26）

○栃木県立博物館研究紀要—自然— 第27号 2010年3月

(〒320-0865 栃木県宇都宮市陸町2-2 栃木県立博物館)

富永孝昭：栃木県とその隣接地域におけるツノゴケ目の分布と生態（19-24）

○Natural History Research 第11巻第1号 2010年4月

(〒260-8682 千葉市中央区青葉町955-2 千葉県立中央博物館)

由良 浩：水はけの良い台地上で発芽したヨシ *Phragmites australis* の実生の生存と成長（英文）（107-114）

○山梨植物研究 第23号 2010年4月

(〒400-0025 山梨県甲府市朝日1-6-8 跡部浩一方 山梨県植物研究会)

村田 源：ヨシとその類似種の観察と考察（1-10）／中込司郎・大久保栄治・渡辺長敬・小林富一郎・穂原 桂・荒山靖久・村石眞澄・米山 真：青木ヶ原樹海の植生（11-30）／篠原弘一・大久保栄治：西沢溪谷のコハクウンボクについて（31-33）／湯本光子：水田依存の植物と両生類・爬虫類の分布（34-38）

○長野県環境保全研究所研究報告 第6号 2010年3月

(〒381-0075 長野市北郷2054-120（飯綱庁舎） 長野県環境保全研究所)

前河正昭・永井茂富：特定外来生物オオキンケイギク、オオハンゴンソウ、ヤエザキオオハンゴンソウの分布・生育実態—長野県北信地方の事例—（17-20）／大塚孝一・尾関雅章：長野北部姫川本流における特定外来生物オオカワヂシャ（ゴマノハグサ科）の分布（31-34）／永井茂富・古澤良幸・羽田 収：特定外来生物オオハンゴンソウの駆除の効果（55-60）／永井茂富・牛山孝佳：長野市芋井軍足池並びにその周辺水田の植物相（61-70）

○長野県植物研究会誌 第43号 2010年6月

(〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1 信州大学理学部 長野県植物研究会)

川上美保子・越石俊江・柴平志保子・原 千枝子・吉村素野香：長野県霧ヶ峰高原池のくろみ地区における火入れ一年目の植生（1-6）／田中 茂・松田行雄・松田貴子：霧ヶ峰湿原の植生の現況1 踊場湿原10年間の動態1998～2008（7-12）／齋藤信夫・竹内健悟・齋藤宗勝：岩木川下流域の河川敷に広がるヨシ原の群落区分及び群落と土壌や人的攪乱との関係（13-18）／小林正明：信州の植物フェノロジーの研究19 西駒ヶ岳千畳敷の開花フェノロジー（19-28）／平田聡子・齋藤 信：小諸市御影新田における「こもろミズオオバコピオトープ」の環境整備について（51-54）／北沢あさ子：ハナノキ湿地周辺の絶滅危惧植物の発見・2—長野県R.D.B.絶滅危惧植物ⅠA類ⅠB類Ⅱ類種、長野県・岐阜県植物誌未確認植物種の発見—（55-58）／中澤清人・川上美保子：イチョウウキゴケの発見：（59-62）／竹重 聡：長野県内キヨズミオオクジャクの新産地報告（63-64）／竹重 聡：オオカワヂシャの繁殖要因と生物多様性（65-68）／横内文人・山田和男：〔植物ニュース〕セイヨウタンポポが燕岳へ登山した（69-70）／大平仁一：植物エッセイ（71-78）／横内文人：故・小泉秀雄先生の野帳（5）（79-90）／清水建美（編）：〔長野県植物誌〕補遺（13）（91-92）

○富山市科学博物館研究報告 第33号 2010年3月

(〒939-8084 富山市西中野町1-8-31 富山市科学博物館)

坂井奈緒子：富山県立山町虫谷岩室の滝周辺に生育する蘚苔類（1-7）／坂井奈緒子：富山県内におけるクロカワゴケの分布の現状（9-14）／佐藤 卓・太田道人：富山県に産する日本海要素植物とその近縁植物の分

布の特徴 (2) —特に北方系日本海要素について— (15–26) / 坂井奈緒子: 富山市科学博物館展示室の立山下ノ小平産スギ株の蘚苔類 (97–98) / 坂井奈緒子: 富山県内のカワゴケの分布に追加する2産地とその現状 (99–100)

○富山県中央植物園研究報告 第15号 2010年3月

(〒939-2713 富山県富山市婦中町上轡田42 富山県中央植物園)

吉田めぐみ: 立山地域における特定植物群落の種組成の特徴 (2) (1–16) / 神戸敏成・中野 優・沈 雲光・王 仲朗・菅 開雲: オークシン様植物成長調節物質ピクロラムが中国雲南省産アヤメ属植物のカルス誘導に及ぼす影響 (英文) (17–21) / 高橋一臣・長谷川幹夫・中島春樹: 富山県西部の二次林林床で優占するササ属植物とその生育状態 (23–29) / 山下寿之: シラカシが富山県で自生していない要因 (31–37) / 中田政司・高橋一臣・李 宏哲: 富山県頼成の森水生植物園に栽培されているハナショウブ39品種の染色体数 (英文) (39–43) / 志内利明・兼本 正・李 景秀・王 仲朗・王 霜・馮 寶鈞・菅 開雲: 中国雲南省のトウトバキ古樹資料 (45–61) / 兼本 正・志内利明・王 仲朗・李 景秀・馮 寶鈞・菅 開雲: 中国雲南省楚雄州黒牛山におけるトウトバキ自生地周辺の植生概観 (63–69) / 大原隆明・富山県中央植物園友の会植物誌部会: 富山県フロラ資料 (14) (71–87) / 橋屋 誠: 富山県高等菌類資料 (8) (89–93)

○富山の生物 49号 2010年3月

(〒930-8555 富山市五福3190 富山大学理学部生物学教室 富山県生物学会)

佐藤 卓・平内好子・村松 勉・氷見栄成・金子靖志: 富山県立山町栃津川流域の森林群落構造とササラダニ群集 (3–17) / 長井幸雄: 富山県植物雑記 (14) 負釣山の植物相の概況 (79–83) / 佐藤 卓: 2009年全国ブナ結実状況 (85–91) / 太田道人・米谷義彦: 富山市浜黒崎のクロマツ巨樹「親鸞上人腰掛けの松」の幹周囲測定 (93–96) / 中川定一: 能登半島南部におけるカラタニイヌワラビの分布 (97–99) / 佐藤 卓: 富山県朝日町朝日岳の温度環境 (101–105)

○石川県白山自然保護センター研究報告 第36集 2009年12月

(〒920-2326 石川県白山市木滑ヌ4 石川県白山自然保護センター)

野上達也・吉本敦子: 2007年に開設された砂防新道う回路に出現したオオバコ (*Plantago asiatica* L.) とフキ (*Petasites japonicus* (Sieb. et Zucc.) Maxim.) の分布と個体サイズ (7–11) / 吉本敦子・野上達也: 砂防新道の各植生帯における開花フェノロジーの比較 (13–20) / 野上達也・中村こすも・小谷二郎・野崎英吉・吉本敦子: 2009年の石川県加賀地方のブナ科樹木3種の結実状況 (35–49)

○河北潟総合研究 第13巻 2010年3月

(〒920-0267 石川県河北郡内灘町字大清台302 NPO法人河北潟湖沼研究所)

高橋 久・川原奈苗: 河北潟干拓地において群生する外来植物の分布 (13–23) / 川原奈苗・高橋 久: 河北潟の沿岸帯の植生Ⅴ 一旧浅野川河口部から大根布防潮水門南東側の湖岸について— (25–31)

○福井市自然史博物館研究報告 第56号 2009年12月

(〒918-8006 福井市足羽上町147 福井市自然史博物館)

和田茂樹: 福井市で2003年から2004年にかけて確認されたミズアオイについて (53–54)

○ため池の自然

(〒480-1195 愛知県愛知郡長久手町岩作 愛知医科大学医学部寄生虫学教室 近藤繁生方 ため池の自然研究会)

第47号 2009年12月—土山ふみ: 浚渫後のため池における植生の変化が水質に及ぼす影響 (2–7) / 高崎保郎: 名古屋城及び周囲の動植物誌 (8–18)

第48号 2010年6月—浜島繁隆: ため池の干上がりと水草への影響 (6–10)

○奈良植物研究 第33号 2010年3月

(〒635-0093 大和高田市磯野町2-12 辰巳博史方 奈良植物研究会)

麻生 泉・瀧華佐和子：ニホンジカによって被害を受けた本州南限のシラビソ林の種組成と分布 (7-28) / 森本喜興・酒井二郎：サクラの巨樹調査 (29-34)

○和歌山県立自然博物館館報 第 27 号 2009 年 12 月

(〒642-0001 和歌山県海南市船尾 370-1 和歌山県立自然博物館)

山口雄司・橋本尚美・内藤麻子・高須英樹：海南市シダ植物目録 (41-68) / 谷関俊男・内藤麻子：ホソバシヨリマ *Thelypteris beddomei* (Baker) Ching (ヒメシダ科) を和歌山県に記録する (69-72)

○大阪市立自然史博物館研究報告 63 号 2009 年 3 月

(〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園 1-23 大阪市立自然史博物館)

藤井伸二・森 小夜子：琵琶湖岸におけるナミキソウ (シソ科) の逸出記録 (11-14)

○人と自然 第 20 号 2009 年 12 月

(〒669-1546 兵庫県三田市弥生が丘 6 丁目 兵庫県立人と自然の博物館)

服部 保・南山典子・石田弘明・橋本佳延：鹿児島県屋久島における照葉樹林の種組成および種多様性 (1-14) / 秋山弘之：セラム・アンボン島 (マレシア東部) の蘚類フロラ X. タマゴケ科, アオギヌゴケ科, ハリガネゴケ科, キンシゴケ科, ヒナノハイゴケ科, イワダレゴケ科, ハイゴケ科 (一部), チョウチンゴケ科, タチヒダゴケ科, ニセウスグログケ科, オオツボゴケ科ならびに既報への修正と追加 (英文) (15-28) / 和田伸顕・押部孝彦：兵庫県下におけるアンペライの自生地の現状について (55-62) / 黒田有寿茂・南山典子・服部 保：絶滅危惧植物ナガボテンツキの種子発芽特性—兵庫県加古川市産での事例— (63-66) / 小豆むつ子・布施静香・高橋 昇：ノアザミ (キク科) の開花期にみられる小花の形態変化—雌株と両性株の比較— (73-79) / 赤松弘治・浅見佳世・田村和也・福井 聡・服部 保：チガヤ人工草原の 16 年後の変化と創出の可能性 (81-91) / 澤田佳宏・服部 保・橋本佳延・南山典子：北海道石狩海岸における海浜型チガヤ群落の組成 (107-112) / 三谷雅純・渡邊邦夫・クンクン J. グルマヤ・エリー N. メガンタラ・アセップ R. プルナマ・ヤン S. シャリフ：インドネシア, 西ジャワのパナンジュン・パンガンダラン自然保護区で 1997 年の ENSO の年に採集した植物種のリスト (英文) (113-120) / 藤井俊夫：天神公園 (兵庫県三田市) の植物相 (121-127) / 福岡誠行・黒崎史平・高橋 晃：兵庫県産維管束植物 11 (139-189)

○兵庫の植物 第 20 号 (20 周年記念号) 2010 年 6 月

(〒654-0121 明石市大蔵谷清水 583-36 小林禮樹 兵庫県植物誌研究会)

松岡成久：兵庫県産カヤツリグサ科フトイ属カンガレイ類の形態的特長と分布 (1-14) / 小林禮樹・菅村定昌・松岡成久・黒崎史平：円山川下流域 (豊岡市) のウスゲチョウジタデ (アカバナ科) の標本による形質観察 (15-18) / 織田二郎：キンキミヤマカンスゲが武田尾に生息 (19-22) / 鈴木 武：兵庫県新産のキビシロタンポポ (23-26) / 牧 雅之・堀江佐和子：サイコクイカリソウの遺伝的分化—淡路島と四国の集団の比較 (27-30) / 白岩卓巳：春から夏に葉を展開するナツノハナワラビとナガホノナツノハナワラビ (ハナワラビ科) の形態観察 (31-36) / 高野温子・追田昌宏・黒崎史平：オチフジ (シソ科) の地上部の季節的消長 (37-40) / 小豆むつ子・布施静香：兵庫県で見つかったノアザミ (キク科) の雌株について (41-42) / 丸岡道行：兵庫県におけるマメヅタラン (ラン科) の生育地と生育環境—露岩地を中心にした調査— (43-46) / 山口 俊・山本一潔：姫路城 (ユネスコ世界文化遺産) におけるタンポポの生育状況—外来種および雑種の割合— (47-54) / 藤井俊夫・樋口清一・石田莞爾：多紀連山 (篠山市) のクリンソウ自生地の個体群構造と保全活動 (55-58) / 藤井俊夫・樋口清一・谷口次男：篠山市でみつかった絶滅危惧種ベニバナヤマシャクヤクの個体群構造 (59-62) / 橋本光政：コヤスノキとその近縁種 (トベラ科) の標本—国内外の標本庫を探索して— (63-72) / 黒崎史平・池田 博・小林禮樹：東京大学植物標本庫 (TI) で見いだされた神戸市産の古い標本 (73-74) / 丸岡道行：氷ノ山山城 (兵庫・鳥取県境) の岩場と草地で観察された植物 (75-80) / 松本修二：兵庫県中南部のため池土手 (堤体) で観察された植物 (81-88) / 水田光雄：宝塚市北部 (西谷地域) の希少植物 (1) (89-94) / 牛島清春・牛島富子・布施静香・黒崎史平：猪名川町で注目すべき植物 (6) —コカラスザンショウの確認とイヌザンショウの樹齡— (95-104) / 水田光雄：神戸港新産の帰化植物 (7) (105-106) / 矢内正弘：兵庫県産の植物図 (9) キク科 (2) (107-152) / 矢内正弘：兵庫県産植物図 (10) イネ科 (1) (153-220) / 小林禮樹・黒崎史平・松岡成久：淡路島富島におけるハマビシ個体群保全のとりくみ

と現在の生育状況 (221-224) / 小林禮樹・黒崎史平・広瀬重夫・矢内正弘・宇那木 隆・横山雅一・柳川宏・松岡成久: 洲本市由良町に移植されたハマアザミの生育状況の推移 (2) —2009年の個体群追跡調査— (225-232) / 高橋 晃: 兵庫県産維管束植物目録の完成 (233-238) / 橋本光政: 兵庫県のフロラ解明の黎明期 (昭和期前半) に関わった研究者たち—大上宇市, 建部恵潤, 樋口繁一, 川崎正悦氏の受信書簡からみえるもの— (239-256)

○広島市植物公園紀要 第27号 2009年3月

(〒731-5156 広島県広島市佐伯区倉重3丁目495 広島市植物公園)

世羅徹哉・高杉茂雄・武内一恵・若木小夜子・吉野由紀夫: アキノタムラソウ亜属の広島県新産種 (1-5) / 吉野由紀夫・世羅徹哉: 広島県のサンカヨウ (*Diphylleia grayi* Fr.Schm.) の新産地とアオホオズキ (*Physalistrum sabatieri* (Makino) Makino) (7-11) / 世羅徹哉: 広島県フロラ覚書 (5) (12-23) / 一橋賢三・北本照子・今村 撰・井上尚子・世羅徹哉: 広島市五日市河内地区の植物相 (I) (25-46)

○比婆科学

(〒727-0013 広島県庄原市西本町1丁目7-7 中村慎吾方 比婆科学教育振興会)

第233号 2010年2月—高杉茂雄: 広島県におけるミヤコミズの分布について (67-68) / 高杉茂雄: 広島県西部におけるヤマホオズキの分布 (68) / 高杉茂雄: 広島県にコウザキシダが自生 (68-69)

第235号 2010年7月—窪田正彦・窪田美良子: 広島県植物誌資料 (11) (7-14) / 太刀掛 優・久藤広志: 呉市音戸町三子島の維管束植物 (15-21) / 高木正道: 備北植物誌資料 (3) (23-27) / 松村雅文: イヌドクサ新産地情報 (32) / 松村雅文: エビガラシダの新産地 (32) / 太刀掛 優: 呉市内で新たに確認した植物 (34-38) / 松尾裕美: 庄原市東城町内堀で観察した植物数種 (38-40) / 近藤芳子: マツバラン呉市内で産す (40)

○島根植物研究会会報

(〒690-0132 島根県松江市西長江町74-2 柳浦正夫 (事務局) 島根植物研究会)

No.18 2010年3月—宮本 巖: 島根半島・塩津のハマビワ林 (2) / 沢江 宏・篠原良夫: 益田市に自生するシダ植物 (16) (2-4) / 柳浦正夫: 松江市宍道町のため池で見られた水生植物について (6-8) / 柳浦正夫: 大江高山のキク科植物 (8) / 柳浦正夫: 植物の分布・観察報告 (39) アスヒカズラ, (40) イトタヌキモの再訂正, (41) イズモイヌワラビ (仮称) について (9-12)

No.19 2010年9月—宮本 巖: 中世・七尾山のシイ林 (2-3) / 柳浦正夫: 旧瑞穂町のため池で見られた水生植物について (3-5) / 沢江 宏・篠原良夫: 益田市に自生するシダ植物 (17) (5-6) / 玖村喜則: 島根県植物分布資料 (51) ハチジョウクサイチゴ *Rubus* × *nishimuranus* Koidz., (52) 旧八雲村でのマルバウマノスズクサ *Aristolochia contorta* Bunge (ウマノスズクサ科) とハネミギク *Verbesina alternifolia* Britt. (キク科 北アメリカ原産) について, (53) 島根県内でのヒノキ (優占) 林について (7-9)

○BOTANY No.59 2009年12月

(〒860-0007 熊本市古京町3-2 熊本博物館内 熊本記念植物採集会)

徳富一生: 河浦町富津周辺の植生・植物相 (1-15)

○宮崎県総合博物館研究紀要 第30輯 2010年4月

(〒880-0053 宮崎市神宮2丁目4-4 宮崎県総合博物館)

斉藤政美: 宮崎県のタネツケバナ類 (83-93) / 福松東一: 宮崎県新産のオニノヤガラについて (95-96)

(中田政司 編)